

【番組審議会】

ラジオ・ミュージーでは、放送番組の向上改善と適正化のため、自社制作の放送番組を審議する放送番組審議会を設置しています。

ラジオ・ミュージー

第 151 回～163 回番組審議会（合同開催）

1. 開催日時

令和 7 年 3 月 24 日（火）午前 10 時～11 時 30 分

2. 開催場所

黒部市国際文化センター コラーレ 創作室

3. 委員の出席

出席委員数 6 名

（武藤 憲夫 委員長、金山 宏明 委員、森田 慶次 委員、竹 洋平 委員、瓜生 みゆき 委員、太田 泉 委員、室 友里恵 委員）

放送事業者側出席者名 長谷川 光一 代表取締役、

制作：朝野 真由子、浄土 拓海、山下 幸子

4. 議事内容

①「サンセット・ミュージー」放送分 令和 7 年 12 月 24 日(水)放送分

【番組内容】

帰宅時のドライバーズゾーンを意識して放送している 2 時間番組。今回は、水曜日の午後 5 時台を提出。水曜パーソナリティは、久和恵実。

【委員の意見】

- ・魚津商工会議所のコーナーでは、年末なので商工会議所の 1 年振り返りの話も欲しかった。
- ・イベントについて、最後に念押しの案内があればよかった。
- ・警察署のコーナーでは、初々しく好感が持てた。パーソナリティとの対話もあったらいい。

②「ふれあいラジオ」 令和 8 年 12 月 21 日(日)放送分

【番組内容】

この番組は、黒部市内にお住まいの方や、黒部市内で活動されている方にスポットを当て紹介する 14 分番組。今回は、自社オリジナルのジンを造りたいという思いで能登から始まった「のと

ジン」(NTG)の活動。能登半島地震や豪雨災害という困難を経て、新たな拠点として黒部市生地を選び移住された想いや、ジン造りのこだわりについて伺った。

【委員の意見】

- ・のとジンさんが何歳で、どんな人かわからない。イメージできるものが欲しかった。
- ・聞き手のコメントが早口で聞き取りにくかった。聞き方に工夫が欲しい。
- ・聞いていて、ジンが飲みたくなった。

③「北方領土返還要求運動特別番組「あの日、あのとき」」 令和8年2月1日(日)放送分

【番組内容】

毎年、2月と8月は北方領土返還運動全国強調月間。この番組は、千島歯舞諸島居住者連盟富山支部が「ラジオを使って伝えられることがないだろうか」との思いから制作・放送している。第5回となる今回は、2025年8月にコラーレで行われた講演会「北方領土漫才『ふるさと』」に焦点を当て、お笑いコンビ「アップダウン」の声、そして戦後80年にかかる千島歯舞諸島居住者連盟の想いを放送した。

【委員の意見】

- ・北方領土の番組をつづけているのはいいことだ。
- ・若い人に伝える、興味を持ってもらうことが大事だと感じた。
- ・もっと黒部と北方領土との関りについても紹介してほしい。
- ・お笑いを紹介するなら、もっとくだけて紹介してもよかったのでは？
- ・聞きにくいところがあった。マイクバランスに気を付けてほしい。

5. 組機関の答申または改善に対してとった措置

- ・イメージできる番組作りを心掛ける。
- ・地元ラジオだからこそできることを考えていく。 等

6. 審議機関の答申又は意見概要の公表

- ・ラジオ・ミューのHP上でも審議会内容を公開。
- ・令和8年4月10日(金)18:15～自社番組「新川BANZAI」の中で審議内容を紹介した。